

沖合の海水のサンプリング・放射能測定計画について

東京電力株式会社

1. はじめに

放出源からの放射能影響を推定する目的でこれまでの海水の放射能測定（4箇所）に加え、原子力安全委員会からの助言を受け、発電所沖合の海水の放射能測定を実施する。

2. 試料採取ポイント

(1) 沖合の海水採取地点

福島第一原子力発電所敷地沖合15km地点付近

福島第二原子力発電所敷地沖合15km地点付近

岩沢海岸沖合15km地点付近

なお、海上の状況により、試料採取地点は変動する。

(2) 測定概要

・ 船よりバケツ型採水器を用いて、表層の海水を採水する。

・ 海水試料は 線放出核種の同定を行う。（福島第二において測定）

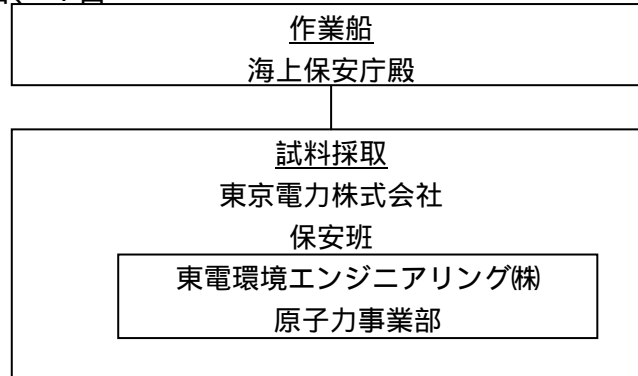
(3) 測定頻度

原則1回/日の頻度で行う。海上の悪天候時は見合わせることもある。

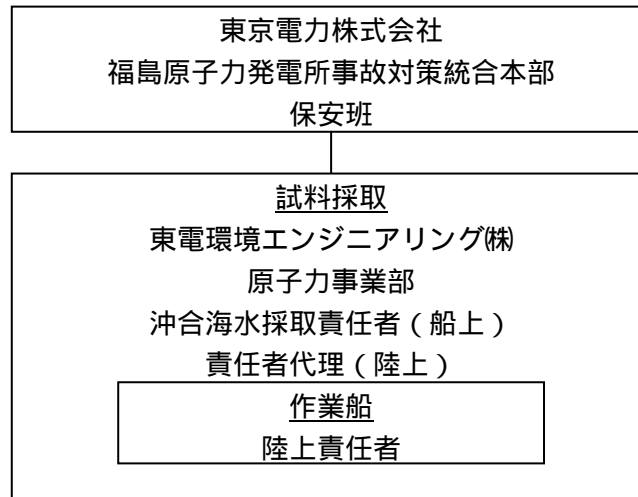
なお、4月2日（土）より実施する。

3. 体制

(1) 4月2日、3日、4日



(2) 4月5日以降



以上